

社員・家族へ利益の還元は今だ！

貨物会社経営陣は
切実な要求の
実現を凶れ！

貨物会社は、モーダルシフトの流れや、人手不足を背景とした大量輸送の優位性を前面に鉄道貨物での輸送力拡大を図ってきている。しかし、経営課題を前面に、春闘では「ベア」の抑制を続け、期末手当は低額に抑え込むなど社員に対し「我慢」を強いてきている。当然社員と家族の日々の生活は「非常に厳しい」との声が多く、住宅購入やローン返済、子供にかかる教育費、老後の備えなど将来への不安は増大し、生活設計も立てられない状況となるなど、若年社員を中心に退職を選択する者も見受けられる。

過去に会社幹部は、「黒字になるまでガマン」「何時かは上天井」などと、その場しのぎの発言を繰り返してきたが、鉄道事業が黒字になっても生活は改善されず、繰り返される生活必需品の値上げで、日々の暮らしはぎりぎりの状態となっている。

昨年度決算は連結・単体ともに黒字化を達成し、今年度事業計画では連結50億円・単体30億円を目指すものとなっている。日々発生する輸送障害や、年々激甚化する自然災害で連日のように列車遅延が発生し、現場社員はその対応に追われている。奮闘する社員に対し、貨物会社経営陣は約束を果たし、社員と家族の生活改善に向けしっかりと応えることを求める。

貨物経営陣は社員・家族の思いに応えよ！

3.0ヶ月分の要求は
社員・家族の生活改善に最低限必要だ！

社員の実態

- ◎子供の教育や将来、家を作ることを考えたら、今の労働条件では厳しい。
- ◎毎月、赤字なので、せめて期末手当を上げてほしい
- ◎シニア社員の低賃金では生活は厳しいままだ。
- ◎期末手当で何とかしてほしい。



満額獲得で安心した暮らしを実現しよう！

要請・宣伝行動を展開
全国工友・地方・分会から闘いを！

5月11日に夏季手当を申し入れた以降、全国、地方、職場では他労組に対する宣伝活動や各種申し入れ等、満額獲得にむけ奮闘を継続している。引き続き、創意工夫した取り組みを強化し要求実現に結び付けよう！

